

組 番 氏 名

一 五つの漢字が「へん」と「つくり」に分けられています。組み合わせ、元の漢字を作りましょう。

二次の「へん」のすべての漢字にある「へん」または「つくり」を□に書きましょう。また、その言い方を□から選んで「へん」に書きましょう。

【両方で一点】

(1) 【体住係】

きへん

(2) 【校柱林】

いとへん

(3) 【頭顔】

おおがい

(4) 【絵線細】

さんずい

(5) 【海泳活】

にんべん

きへん
いとへん
おおがい
さんずい
にんべん

小学校3年生 *単元確認テスト* 2学期 ②		ローマ字	
組	番	氏名	/10

1 ローマ字で書かれた次の言葉をひらがなで書きましょう。 【各1点】

(1) a m e

(2) m i t i

(3) s i p p o

(4) o k â s a n

(5) s e k a i

(6) k i s y a

2 次のひらがなをローマ字で書きましょう。

【各1点】

(1) あさ

.....

(2) こんや

.....

(3) とやま

.....

(4) がっこう

.....

組 番 氏 名	小学校三年生 *単元確認テスト* 二学期 ③	しゅう 修 飾 語
/ 10		

一 れいにならって、() 内の数の修飾語を見つけて、下の□に書き出しましょう。
【各1点】

(れい) わたしは、本を読みました。(一つ)

(1) わたしは、きのう、部屋をかたづけました。

(二つ)

(2) 母は、おばあちゃんにもつをおくりました。

(二つ)

(3) 母は、となり町のおばあちゃんに、にもつを送りました。(三つ)

(4) 姉は、学校の本を読みました。(二つ)

(5) 木がぐんぐん育ちました。(一つ)

5	4	3	2	1	れい	
					本を	修飾語

小学校三年生		*単元確認テスト* 二学期 ④	
組	番	氏名	
		漢字の広場 4	
		/ 10	

一 タケシくんは、住んでいる町の様子をせつ明する文を日記に書きました。
 れいにならって の言葉を一回ずつ使って文章を書きましよう。

(「作る」を「作っ(て)」のように書き直してもよい。)

【各五点 教師判定】

タケシくんの日記

(れい)

家 北

近所

わたしの家は、町の北の方にあります。近所に
 犬を飼っている家があります。

(1)

市場 活気

自動車 東

(2)

西 広場

走る 交番

小学校三年生 *単元確認テスト* 二学期 ⑥		漢字の広場 5
組 番 氏 名		／10

一 タケシさんは、学校でしたことを日記に書きました。れいにならって
 □の中の言葉を一回ずつ使って、文章を書きましょう。

〔「使う」を「使って」のように書き直してもよい。〕

【各五点 教師判定】

(れい)

理科 使う
 電池

理科の時間に、かん電池を使って、じっけんを
 した。

(1)

社会 知る
 新聞 考える

(2)

算数 計算
 教える
 答える
